

令和2年度の福岡市の予算が発表されました 一般会計は約8875億円・合計で約1兆9428億円です

◎福岡市の一般会計は、昨年度を上回る規模となりました。教育費の増や就学前児童の給付費、社会保障関係費の増が主な要因です。

◎市税収入も増加で、個人市民税の増加、宿泊税の開始などで昨年度を上回っています。

◎福岡市議会は、2月補正予算の審議を含め、当初議会審議を2月17日～3月25日まで行い、4月からの予算執行に向け山口議員を含め全議員が真剣に議論を交わし、より良い生活、経済の好循環を目指してまいります。

令和2年度予算の特色

① 生活の質の向上を実感できるまち

保育環境の充実・特別教室の空調整備・不育症検査費助成・繁華街の悪質な客引き対策・認知症フレンドリーシティプロジェクト・医療的ケア児受入れ推進・南部療育環境整備

② 多彩な人が集い「チャレンジ」できるまち

宿泊税を活用した観光振興事業の充実・オリンピック、パラリンピック関連事業・AIエンジニア支援事業・外国人材受入れ事業・市街化調整区域の活性化・農福連携事業

③ 「都市基盤」が充実し次の世代のためのまち

災害に強いまちづくり・脱炭素社会へチャレンジ・天神ビックバン・ウォーターフロントネクスト博多コネクテッド・博多旧市街プロジェクト・フクオカスマートイースト・福岡空港周辺整備

新型コロナウイルス対策で行政に要望



令和2年2月21日にまん延防止緊急申し入れを荒瀬副市長に行いました。昨日の福岡市感染者の発生を受けて

①保健所など相談体制の強化 ②障害者や高齢者施設での防止対策 ③病床確保など医療体制整備 ④イベントなどでの感染防止対策に力を入れるよう要望しました。副市長からは全力で対処していくと発言がありました。

受診・検診の流れ

- 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている方
- 強いだるさ、息苦しさがある方は相談電話をお願いいたします。
- 高齢者や基礎疾患等のある方は2日以上の場合、対象者です！

感染症相談ダイヤル (24時間受付)

092-711-4126

一般的な相談窓口 (福岡県)

092-643-3288 (平日のみ)

※また、感染が疑われる方は、各区の保健所に連絡をお願いいたします。

公明党市議団の主張で推進した 令和2年度予算の主な施策を紹介します！

子ども医療費の助成拡大



令和3年から中学3年生までの通院費を助成します。今年度はシステム改修費を計上し、義務教育期間の入院・通院にかかる費用負担を軽減します。

気候変動に強いインフラ整備



住宅用エネルギーシステムの導入助成や浸水対策を進めます。事業所へは、省エネ計画書制度への参加を促進します。

不育症検査費の助成



妊娠しても流産や死産を繰り返す医療保険適用外の不育症検査と治療にかかる費用を助成します。

就職氷河期世代の支援



各区の就労相談窓口で包括的支援を行います。また「ひきこもり成年地域支援センター」も連携して多角的支援を行います。

学校のICT環境を整備



児童生徒全員に1人1台の端末を渡して、普通教室でのICT環境の整備を検討、推進していきます。

地域との協働で買い物支援



宅配等を行う商店情報を「買い物支援ガイドブック」として作成し、インターネットによる買い物先との中継などを推進します。

保育施設周辺道路整備



市内153か所の交差点や周辺道路整備で園外保育や通学路等の安全を推進します。キッズゾーンは国の通知を踏まえ関係機関と対応します。

農林水産業の経営強化支援



市内産農林水産物の学校給食への活用や砂ゼロアサリの販売強化など六次産業化を促進します。

医療的ケア児・障がい児の保育

令和2年より全ての公立保育所に受入れます。また療育センターの外来療育や保育士の訪問支援、看護師の園へ派遣も実施します。

障がい者グループホーム支援

171箇所(R1.12末)の施設がありますが、更に重度障がい者を受け入れる施設へ市独自の運営費補助制度を創設します。

ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL: 711-4728 FAX: 741-4597 <議員控室>

山口つよし

《担当役職》

議会運営委員会副委員長

教育こども常任委員会委員

九大移転跡地対策協議会委員

